

LPガス LPG 小中学校体育館に 滋賀県協甲賀湖南市に要望

滋賀県LPガス協会甲賀支部（鈴木利浩支部長）は3月26日、湖南市教育委員会を訪問し、小中学校の体育館へのLPガス仕様GHP導入を要望らと面談した。



谷口茂雄教育長（左）に要望書を手渡す鈴木利浩支部長

⑤災害時の非

片淵専務理事はLPガス仕様GHPの長所を①総合的な経済性に優れる②省エネでCO₂排出を削減③電力ピークカットに貢献④電力・都市ガスが途絶しても自立運転可能

常用電源にもなる——と説明。「面積が広く高天井の体育館にはパワフルなGHPが最適」と述べた。駒井部長は「東日本大震災ではバルクのLPガスを炊き出しに使用しなかった。LPガス空調の採用で住民に安心してもらえる避難所にしていただきたい」と訴えた。鈴木支部長は「自主防災会の訓練でもバルクを使った炊き出しをすれば住民の安心につながる」と提案。小林副支部長は隣接する甲賀市庁舎の事例を挙げ「電気空調と並行してGHPを導入していただき、災害時には3

バルクを活用した炊き出しもできるようになった」と紹介した。

谷口教育長は「東日本大震災の後、南相馬市を回ったが避難所の方は本当に大変だった」と振り返り、「当市の市長も防災の観点をしっかり持っている。学校給食センターへのLPガス採用も災害時の炊き出し機能を考えて行った」と述べた。